

子どもと年金の話をしてみる

今月は、厚生労働省でつくられた高校生向けの社会保障教育の教材をご紹介します。



答える人
先生
社会保険労務士

聞く人
由美
契約社員50歳

由美 先日、20歳になった大学生の娘と国民年金の話をしていたら、高校生の息子が興味を持ったようです。

先生 息子さんの話は、進みましたか？

由美 実は、息子の質問に、私も夫も答えに困った場面がありました。こういうことは、どのようにすればうまく教えられるのでしょうか。

先生 厚生労働省で高校生向けにつくった社会保障教育の教材があるので、それを使ってはいかがでしょうか。

由美 私のときは20歳になっても学生は年金に加入する義務がありませんでしたが、今は違いますものね。高校生

強しておくのはいいですね。

先生 そうですね、大人にも勉強になる教材だと思いますよ。

由美 どんな教材があるのですか？

先生 まずは、動画配信サイトでも視聴できる映像教材「社会保障ってなに？～身近な人から学ぶ健康保険や公的年金の話～」を視聴してみるところです。高校生が主人公のドラマと解説という構成で、約26分の教材です。

由美 それなら、気軽に観られそうですね。早速、家族で観てみます。

先生 映像教材を視聴しながら使用できるワークシートもあるので、活用してみてください。

社会保障ってなに？～身近な人から学ぶ健康保険や公的年金の話～

- 視聴方法**
- ①インターネットで「厚生労働省動画チャンネル 社会保障」を検索
 - ②「社会保障教育の映像教材 厚生労働省」をクリック
 - ※このサイトで、視聴時に使用できるワークシートをダウンロードできる
 - ③動画配信サイトで視聴

内容(約26分)

プロローグ(社会保障とは)、高校生が主人公のドラマ(健康保険と公的年金の事例)と概要の解説、健康保険・公的年金のまとめ、学習のポイント

大人にも役立つ社会保障教育の教材

厚生労働省の「社会保障の教育推進に関する検討会」で作成した教材は、学校の授業の副教材として活用するために作成されたものですが、学生時代にこうした授業を受けた経験のない大人にも役立つ教材です。

- 先にご紹介した映像教材のほか、ワークシート【基礎】と【発展】があります。
- 【基礎】比較的短い時間で基礎的なことについて学べるワークシート
- 【発展】社会保障の基礎的な知識を学習した生徒が、さらに理解を深めることができるワークシート

教材の入手方法

- ① インターネットで「社会保障教育の教材」を検索
 - ② 「社会保障教育 厚生労働省」をクリック
 - ③ 「副教材」の「ワークシート」をクリック
- ▶ 「社会保障教育の教材」を開く

ワークシート

今回は、短時間で利用できるワークシート【基礎】から2点をご紹介します。

年金教材「10個の「10分間講座」」

高校生が最低限、知っておきたい10項目をクイズ形式でまとめたもの。

たとえば

- そもそも、どうして国の年金は「仕送り方式」なの？
- 少子高齢化が進むと年金はどうなるの？

など

身近な社会保障を学んでいく

家計簿を記入しながら、家計と社会保障の関係を知る。また、自分の努力だけではどうにもならない人生のさまざまなリスクと社会保障制度の必要性、現金給付だけでなく制度があることで負担が軽減される役割があること、各世代の給付と負担について学べる。

画像出典：社会保障教育のワークシート【基礎】(厚生労働省)

横山 玲子
社会保険労務士

よこやま・れいこ 横山玲子社会保険労務士事務所代表。横山玲子社会保険労務士事務所ホームページ
http://www.r-yokoyama-office.jp/
Twitterアカウント @mayokor

MEMO 由美さん家族のその後

由美さんの夫は会社の人事担当者で、ワークシート「身近な社会保障を学んでいく」に関心を持ったようです。新入社員の研修時に社会保険制度の説明をしているのですが、給与から控除される社会保険料と社会保険制度を説明する際に、ワークシートにあるイメージ図「わたしたちの生活と社会保障」を活用することを思いついたようです。